

日本保健物理学会 第二回緊急時モニタリング臨時委員会 議事録

1. 開催日時 令和2年12月9日(水) 10:00-12:10
2. 開催場所 Web開催(Zoom)
3. 出席者 細田、斎藤、大森、武田、山田、平尾、谷、折田、外間、辻口
4. 議事
 - 1) 第一回臨時委員会議事録について
 - 2) 委員会検討項目に係る情報収集の進捗について
 - 3) その他、事務連絡

5. 配布資料

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 資料1 | 第一回臨時委員会議事録 |
| 資料2 | 役割分担 |
| 資料3 | 「福島以前のモニタリング体制」の進捗 |
| 資料4 | 「原子力災害対策指針における緊急時モニタリング」の進捗 |
| 資料5～7 | 「モニタリング体制概要」と「モニタリング技術」の進捗 |
| 資料8 | 「情報収集と伝達」の進捗 |
| 資料9 | 「モニタリング要員」の進捗 |
| 資料10 | 「国際機関における動向」の進捗 |
| 資料11 | 「海外の研究機関における動向」の進捗 |

6. 議事内容

1) 第一回臨時委員会議事録について

- 幹事より、資料1について説明がなされた。

2) 委員会のスケジュールおよび検討項目について

- 各委員より、資料2から11に基づいて委員会検討項目に係る情報収集の進捗状況の報告および情報交換がなされた。
 - ・ 各委員からのコメントをまとめる。
 - ①収集した情報について、必要に応じて委員間で積極的な情報共有をしていきたい。
 - ②福島事故以前のモニタリング体制に加え、モニタリング技術についても情報収集してはどうか。
 - ③本臨時委員会の報告および提言として言及するモニタリング項目について選定し

た方がよいのではないか。

④モニタリングや情報伝達について初期・中長期の定義が難しいことから、今後項目を再度調整する必要があるのではないか。

⑤国や自治体に加え、教育研究機関の取組についても情報収集してはどうか。

⑥モニタリングに係る線量について提言できるとよいのではないか。

⑦情報提供やリスクコミュニケーションについて、対象者が広い分野であるため、共通して提言できる内容を報告書に残してはどうか。

⑧モニタリング要員に関する提言に向け、緊急事態の規模の想定を今後検討する必要があるのではないか。

⑨国際機関の動向に関する情報収集状況も踏まえ、海外機関へのアンケート調査内容の選定を行ってはどうか。

- ・ 委員の意見交換の結果、次回委員会までは現在の役割分担に従い継続して情報収集・情報交換に努めることとなった。
- ・ 次回以降の委員会において、本臨時委員会報告書等作成に向け、最終的な章立てを再考していくこととなった。

3) その他、事務連絡

- 委員長および幹事より、アンブレラ代表者会議用の本臨時委員会経過報告資料について、会長宛に提出する予定である旨報告があった。
- 委員長および幹事より、対面での委員会開催旅費として執行する予定であった活動経費について、COVID-19 の状況を鑑みると執行が難しいことから、論文・書籍等の購入に充ててはどうか、と提案がなされ、承認された。なお、購入前に委員全員に購入希望の旨連絡し、いずれの委員も情報を持ち合わせていない場合にのみ購入可能とすることとなった。
- 委員長および幹事より、今年度の活動報告書の作成について、次回委員会開催前後（2021年1月下旬～2月）までに、本日までの資料を基にたたき台を作成し、配信する旨報告があった。

以上

書記：辻口